

- 問1 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。

2. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。

3. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。

4. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。
- 問2 古墳時代の日本（倭）が朝鮮半島や中国大陸の諸王朝と活発に交流していたことを示す証拠について、群馬県の綿貫観音山古墳などの出土品から読み取れる共通点として最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 遣隋使が派遣されるまで大陸との交流は完全に途絶えており、仏教に関する文物のみが特例として見られる点

2. 江戸時代の鎖国政策の影響により、大陸由来の文物が一切見られず、日本独自の土器のみが発達している点

3. 朝鮮半島の高句麗や百濟、新羅、加耶などの地域と共通する、銅製水瓶や馬具などの文物が確認される点

4. 縄文時代以来の伝統である大型の磨製石斧や、日本列島固有の黒曜石製品が大量に出土する点
- 問3 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)

1. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。

2. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。

3. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。

4. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。
- 問4 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 前方後円墳

2. 方墳

3. 円墳

4. 積石塚
- 問5 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。

2. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。

3. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。

4. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。
- 問6 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)

1. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。

2. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。

3. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。

4. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。
- 問7 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

1. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。

2. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。

3. 唐が周辺諸国に従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。

4. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。
- 問8 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。

2. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。

3. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。

4. 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。
- 問9 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)

1. 聖徳太子

2. 卑弥呼

3. 中大兄皇子

4. ワカタケル大王
- 問10 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

1. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。

2. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。

3. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。

4. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。
- 問11 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 高山県公立入試 類似)

1. 装飾古墳

2. 円墳

3. 方墳

4. 前方後円墳
- 問12 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)

1. 都

2. 貝塚

3. 環濠集落

4. 古墳
- 問13 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)

1. 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した

2. 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした

3. 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした

4. 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた